

## 菟波地区意見交換概要

日時 平成 26 年6月 24 日(火)

場所 菟波公民館

出席 40 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
17-1	健康増進のため小矢部川河川敷を歩けるよう舗装整備してほしい。	国も河川敷を有効活用しようというスタンス。健康寿命向上の施策は大切なのでしっかり要望していきたい。
17-2	アウトレットの効果に関して、社員は何人ほどになるのか。市内に住んでもらえるのか。	1000人の雇用と言われており、うち200人程が市内から雇用されると思う。市外からの雇用者を市内定住に繋げるようアピールしていく。住宅は民間の開発に期待している。
17-3	耐震化は済んだが、部活動もままならないような現状において、学校の統廃合についてはどのような考えか。	耐震化は本年度で全て終わる。人口減少や少子化が進むと統廃合の問題が生じてくる。学校は地域のシンボルといった面もあるが、一つの判断基準としては複式学級になったら、統合もやむを得ないと考える。
17-4	美術活動拠点施設整備事業は、具体的にどのようなものか。	美術活動拠点施設を建設してほしいということで1億5千万円の寄付があったことから始まった。クロスランドのオアシスの森に、国の交付金1億円を合わせた2億5千万円で建設。アートハウスとして、市民が気軽に創作活動ができる施設を目指している。
17-5	稲葉山からは、とてもきれいに星が見える。金沢には天体観測や宿泊施設を備えたところもある。子供の教育の面からも、稲葉山を「星が見られる場所」として活用、アピールしてはどうか。	稲葉山はアウトレットからも近く、戦略会議の中でも有効活用について議論している。2年前に「星空に一番近い牧場」と題してポスターを作ったところ大変好評だった。活用について持ち帰って検討したい。
17-6	菟波川の堤防道路の舗装について、県に確認したところ、河川の管理道路のため難しいとの返答であった。市の管理道路として対応できないか。	県土木と協議をしてきた。現地を見て市でできるところは対応したい。
17-7	防災無線について聞こえにくい地域があった。すぐに職員が見に来てくれ、向きを変えるなど対処してくれたことを感謝します。	不都合があるようであれば、また、お伝えいただければ対応します。